

6

職場運営の問題解決を前進させる マネジメント実践研修

研修のねらい

- 地方自治体のマネジメント理論を体系的に学ぶことができます。
- 自身のマネジメントレベルを客観的に評価し、改善できるようになります。
- 職場のマネジメント上の問題に関して、後戻りしない解決手法を習得します。

職員減少・職務増大の時代にあって、“場当たりの職場運営”から未来志向の“後戻りしない職場運営(=マネジメント)”に転換することが求められています。そのため、今まで以上に、効果的・効率的なマネジメントを実践する必要があります。

まずは、自治体のマネジメントを体系的に理解し、9つのマネジメントの活動において、自分なりの実践ポイント(技術)を体得します。また、重要なマネジメントの問題は、「その場限りの解決」ではなく、「後戻りしない仕組みの構築」を実践することが不可欠です。

この研修では、上記を踏まえ「自治体マネジメントの理論と技術」「後戻りしないマネジメントの実践手法」を体得し、職場で後戻りしないマネジメントを実践できる管理職を育成します。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

1日コース

午前

1. マネジメントの必要性

- (1) 職場の過去と現在
- (2) 管理職の現状と職場の未来

2. 自治体のマネジメント

- (1) 管理・経営管理・経営の違い
- (2) マネジメントの目的・プロセス・活動・全体像
- (3) 9つのマネジメント活動

午後

3. マネジメント上の問題

- (1) 一般的問題とマネジメント上の問題
- (2) マネジメント上の問題の先送りの要因

◇ 演習(マネジメント上の問題の定義) ◇

4. マネジメントの実践

- (1) より良いマネジメント活動とは
- (2) 仕組みづくり(ツール、ルール、達成基準)

◇ 演習(マネジメント上の問題解決に向けた行動計画) ◇

5. まとめ